

壁紙施工要領書

- スポンジエース LP -

■特長

- ・ スポンジエース LP は、スポンジエースに吸音効果を持たせるためピンホール加工を施しています。バックিংはスポンジエース同様布裏（メリヤス地）です。

■下地調整

- ①石膏ボード、ベニヤ合板下地の場合
 - ・ ボードおよび合板の継目部分をパテ処理し平滑にしてください。
 - ・ 釘の頭が出ている場合は、下地面より沈めるよう金槌等で打ち込みます。
- ②モルタル下地の場合
 - ・ モルタル表面に付着している砂、ホコリ等を取り除き、シーラーで下地調整をして乾燥させてください。

■接着剤

- ・ 接着剤は、下地側に接着剤を塗布する向こう糊施工にて、でん粉系接着剤にエチレン酢ビ系ボンドを（石膏ボード、ベニヤ合板で約 30%、モルタルで約 40～50%）混合して、糊：水＝10：6～7 程度を目安にし多めに塗布してください。（水分の多い薄い糊の場合、壁紙が糊自体を吸い込んでしまい、接着力が低下します。水分を余分に吸い込むことで伸び切るまでの時間が長くなったり、ふくれの原因にもなります。）

※商品自体にピンホール加工を施しておりますので、商品裏面に接着剤を塗布すると、表面に染み出る場合があります。

■オープンタイム

- ・ 接着剤塗布後は、うませ時間は 5～10 分程度を目安にしてください。施工環境により接着剤が乾かないよううませ時間を調整してください。

■施工

- ・腰が強く自重のある材料（627 g／㎡）ですので、癖がつかず出入隅の納めにやや難点があります。納まりが悪い場合、捨て糊等での対応が有効です。（下地によっては四方回りを生ボンドで納めることも有効です）
- ・ジョイントは重ね裁ち（ダブルカット）にて納めるようにしてください。（石膏ボード等の下地の場合、下地面まで切りつけないようにしてください。）突き付けでの糊のはみ出しを防止します。
- ・エアー抜きの際、強くなで付け過ぎると、表面の穴から接着剤が染み出し変色する場合がありますので注意してください。

■その他

- ・厚み（1.0mm）がありますので、下地の不陸は比較的拾いにくい材料です。
- ・Sタックなどの両面テープ使用でも対応できます。